
User's Manual

CL250
Clamp-on Tester
クランプテスタ

IM CL250

保証書付

YOKOGAWA ◆

横河計測株式会社
Yokogawa Test & Measurement Corporation

IM CL250
2021.11 13 版 (KYOU)

目次

■安全にご使用いただくために	i
1. 各部の説明	1
2. 測定方法	3
2.1 測定を始める前に	3
2.2 直流電流の測定	3
2.3 交流電流の測定	4
2.4 直流電圧の測定	5
2.5 交流電圧の測定	5
2.6 抵抗測定	6
2.7 導通チェック（400Ωレンジ固定）	6
2.8 MAX測定	8
3. 機能の説明	9
3.1 スリープ機能	9
3.2 データホールド機能	9
3.3 OUTPUT端子（電流測定時のみ使用可能）	10
3.4 別売アクセサリの使用方法	11
4. 電池の交換	12
5. 仕様	13
6. 校正およびアフターサービス	15

■安全にご使用いただくために

本器を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず取扱説明書をお読みください。また、取扱説明書の中に記載されている注意、警告の内容は必ず厳守してください。これらの注意に反たご使用により生じた故障や損害については、当社では責任と保証を負いかねます。

本器および取扱説明書には、安全に使用していただくために次のシンボルマークを使用しています。



“取扱注意”を示しています。人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。



二重絶縁または強化絶縁で保護されていることを示しています。



交流 (AC) を示しています。



直流 (DC) を示しています。



交流 (AC) と直流 (DC) の両方を示しています。



アース (大地) を示しています。



隣接表示の測定カテゴリに対する回路—大地間電圧以下であれば活線状態の裸導線をクランプできる設計であることを示しています。



警告

回避しないと、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合に使用します。



注意

回避しないと、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合、または製品などの機器に物理的損害が発生する可能性が想定される場合に使用します。

注記

製品を取り扱う上で重要な情報および操作や機能を知る上で注意すべきことがらを記述する場合に使用します。



警告

-
- 本器は、AC750V/DC1000V以上の回路では、絶対に使用しないでください。
 - 本器を可燃性/爆発性のガスまたは雰囲気のある場所で使用しないでください。
 - トランス先端部は被測定物をショートしないような構造になっていますが、絶縁されていない導線を測定する場合トランスコアで被測定物をショートしないよう注意してください。
 - 本器に雨または湿気などの水滴が付着した状態での使用や、濡れた手での操作は行わないでください。
 - 測定の際には、測定範囲を超える入力を加えないでください。
 - 電池カバーを外した状態では、絶対に測定しないでください。
-

- 本器のケースが損傷または外れている場合には、測定をしないでください。
- 測定物に測定リードを接続したままファンクションスイッチを切り換えないでください。
- 本器の分解、改造、代用部品の取付けは行わないでください。
- 電池交換のため電池カバーを開けるときは、測定リードを外し、ファンクションスイッチをOFFにしてください。
- 劣化したり損傷した測定リードは使用しないでください。
- 測定リードの導通チェックをしてください。



警告

本器は、安全規格に規定された測定カテゴリによって使用電圧の制限があります。これらは、給電ラインに含まれる過渡的なインパルス電圧から測定者の安全を確保するためです。

ファンクション	最大許容入力	
	測定カテゴリⅢ	測定カテゴリⅣ
～A, ≡A	AC 2000A rms 測定回路電圧AC 750V rms DC 1000V	AC 2000A rms 測定回路電圧AC 600V rms DC 600V
～V, ≡V	AC 750V rms/DC 1000V	AC 600V rms/DC 600V
入力端子と 大地(アース)間	AC 750V rms/DC 1000V	

測定カテゴリは以下のとおりです。

O (None, Other) 主電源に直接接続しない回路の測定に適用されます。

測定カテゴリⅡ (CAT Ⅱ) 低電圧設備に直接接続された回路の測定に適用されます。

測定カテゴリⅢ (CAT Ⅲ) 建造物設備の回路の測定に適用されます。

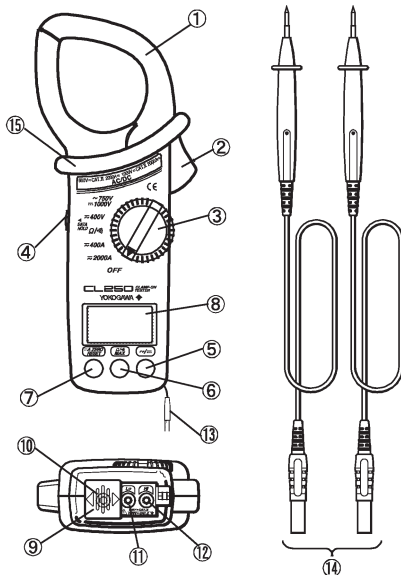
測定カテゴリⅣ (CAT Ⅳ) 低電圧設備への供給源の回路の測定に適用されます。



注意

- 測定リードを使用するときは、プラグを根元まで本体の端子に差し込んでください。
- 電流測定の場合は、必ず測定リードを本器から外してください。
- 使用後は必ずファンクションスイッチをOFFにしてください。長期間使用しない場合には、電池を外して保管してください。
- 本製品の使用は住宅・商業用および軽工業の環境に制限されます。付近に強い電磁干渉装置や大電流による大きな磁界がある場合は、正確な測定ができない場合があります。
- クリーニングには研磨剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を使用してください。

1. 各部の説明



- ①トランスコア： 電流検出用センサ
 ②開閉レバー： トランスコア開閉用レバー

③ファンクションスイッチ

測定機能切換スイッチおよび電源スイッチ。“OFF”の位置で電源が切れます。

④データホールドスイッチ

LCD表示部の測定値を保持するためのスイッチです。表示部に **H** マークが表示されます。

⑤ スイッチ

AC/DCを切り換えるスイッチです。

電源を入れた初期状態ではACモードに設定され、1回押すとDCモードに切り換わります。

⑥ スイッチ

電流、電圧レンジでスイッチを押すことによりMAX測定モードになり、LCD表示部に **MAX** が表示され、測定値の最大値を表示します。

再度押すことでMAX測定が解除されます。

抵抗レンジでスイッチを押すことにより導通チェックになり、LCD表示部に●))が表示され測定値が約50Ω以下の場合ブザーが鳴ります。

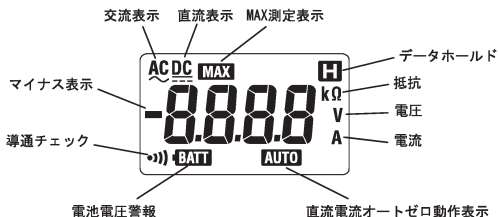
再度押すことで導通チェックが解除されます。

⑦ **"A ZERO RESET"** スイッチ

直流電流測定時、ゼロ調整/MAX測定モードでの指示値のリセット。直流電流(400Aレンジ)でのゼロ調整で**AUTO**のマークを表示します。

⑧ LCD表示部

LCD表示で、最大表示は“3999”です。ファンクション、小数点、記号が表示されます。



⑨ スライドカバー

OUTPUT端子を使用するときは入力端子が使用できなくなり、誤って電圧を入力する危険を防ぎます。

⑩ OUTPUT端子（電流測定時のみ使用可能）

交流電流測定時は測定値が直流電圧に変換されこの端子から出力されます。

直流電流測定時は測定値が直流電圧に変換されこの端子から出力されます。

(3.3 OUTPUT端子参照) この出力は記録計などに接続し、モニタなどに使用可能です。なお、電圧測定、抵抗測定時には、OUTPUT端子は使用できません。

⑪ Lo端子

電圧および抵抗測定時に測定リード（黒）を接続する端子です。

⑫ Hi端子

電圧および抵抗測定時に測定リード（赤）を接続する端子です。

⑬ ハンドストラップ

使用中に手に通し、本器の落下を防止するためのバンドです。

⑭ 測定リード（形名：98072）

電圧および抵抗測定時に使用し、入力端子に接続します。

⑮ バリア

操作中の感電事故を防ぐため最低限必要な沿面及び空間距離を確保するための目印です。

2. 測定方法

2.1 測定を始める前に



注意

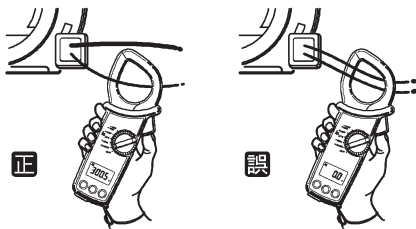
- トランスコア部は精密なセンサのため、使用の際は強い衝撃や振動、無理な力を与えないでください。
- トランスコアの先端部にゴミなどが入った場合は、直ちにゴミを取り除いてください。そのままの状態ではトランスコアを閉じるとセンサを破損する原因となります。
- 測定前に必ず測定したいレンジ、モードに設定されていることを確認してください。

2.2 直流電流の測定



警告

- 本器は、DC 1000V以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- 測定リードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。
- 測定の際は指先等が、バリアを越える事のないよう充分注意してください。



- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400A にセットし、 $\sim/DC$ スイッチを押して直流 (DC) にしてください。LCD 表示部に “DC” が表示されます。
- (2) 被測定導体を挟まずにトランスコアを閉じた状態で、 $\sim/A\ ZERO\ RESET$ スイッチを1秒間押し、LCD 表示を “0” にしてください。(ゼロ調整。 $\sim/A\ ZERO\ RESET$ スイッチは 400A レンジのみ動作します。) LCD 表示部に **AUTO** マークが表示されます。
- (3) 被測定電流に合わせてファンクションスイッチを切り換えます。
- (4) 開閉レバーを押してコアの先端を開き被測定導体の1本をコアの中心になるようクランプしてください。LCD 表示部に測定値が表示されます。

注記

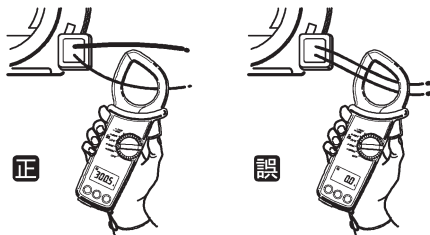
- 被測定可能導体径は、約 $\phi 55\text{mm}$ です。大きい導体をクランプシトランスコア先端が完全に閉じていない状態では正確な測定ができません。
- クランプ電流の向きは、表側（表示部側）から裏側へ流れる場合は、プラス（+）になり裏側から表側へ流れる場合は、マイナス（-）になります。
- OUTPUT端子の出力は、**“AZERO RESET”**スイッチを押して表示を“0”にしても出力はゼロにならない場合があります。接続する記録計などでゼロを合わせてください。
- ゼロ調整をした後、ファンクションスイッチを直流電流以外にセットすると、ゼロ調整が解除されます。

2.3 交流電流の測定



警告

- 本器は、AC 750V以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- 測定リードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。
- 測定の際は指先等が、バリアを越える事のないよう充分注意してください。



- (1) ファンクションスイッチを $\sim 400\text{A}$ または $\sim 2000\text{A}$ にセットしてください。(初期状態では交流(AC)ですが、直流(DC)になっている場合は $\sim$ スイッチを押して交流(AC)にしてください。) LCD表示部に“AC”が表示されます。
- (2) 開閉レバーを押してコアの先端を開き被測定導体の1本をコアの中心になるようクランプしてください。LCD表示部に測定値が表示されます。

注記

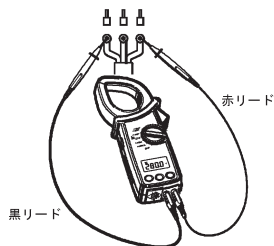
- 被測定可能導体径は、約 $\phi 55\text{mm}$ です。大きい導体をクランプシトランスコア先端が完全に閉じていない状態では正確な測定ができません。
- 交流電流測定の場合は、ゼロ調整は必要ありません。また、電流の方向も表示には関係ありません。
- OUTPUT端子の出力は、**“AZERO RESET”**スイッチを押して表示を“0”にしても出力はゼロにならない場合があります。接続する記録計などでゼロを合わせてください。

2.4 直流電圧の測定



警告

本器は、DC 1000V以上の回路では、絶対に使用しないでください。



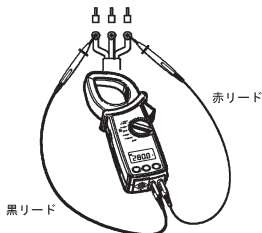
- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400V または $\equiv$ 1000V にセットし、 $\sim/\equiv$ スイッチを押して直流 (DC) にしてください。LCD 表示部に “DC” が表示されます。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードをHi端子に、黒の測定リードをLo端子に接続してください。
- (3) 被測定回路の(+)側に赤の測定リード、(-)側に黒の測定リードを接続してください。LCD表示部に測定値が表示されます。

2.5 交流電圧の測定



警告

本器は、AC 750V以上の回路では、絶対に使用しないでください。



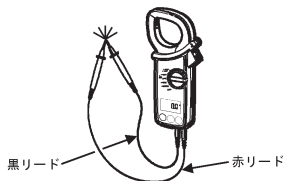
- (1) ファンクションスイッチを $\sim$ 400V または $\sim$ 750V にセットしてください。(初期状態では交流(AC)ですが、直流(DC)になっている場合は $\sim/\square$ スイッチを押して交流(AC)にしてください。) LCD表示部に“AC”が表示されます。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードをHi端子に、黒の測定リードをLo端子に接続してください。
- (3) 被測定回路に測定リードを接続してください。LCD表示部に測定値が表示されます。

2.6 抵抗測定



警告

本器は、電位のある回路では、絶対に使用しないでください。



- (1) ファンクションスイッチを $\Omega/\square$ にセットしてください。LCD表示部に“ Ω ”が表示されます。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードをHi端子に、黒の測定リードをLo端子に接続してください。
- (3) このときの表示は、オーバー表示であることを確認し、測定リードをショートさせLCD表示が“0”になることを確認してください。
- (4) 被測定抵抗の両端に測定リードを接続してください。LCD表示部に測定値が表示されます。

注記

- 測定リードをショートしても、表示が完全に0にならない場合がありますが、これは測定リードの抵抗によるもので、不良ではありません。
- 測定リードがオープンなときは、表示は“OL”となっています。

2.7 導通チェック (400Ωレンジ固定)



警告

本器は、電位のある回路では、絶対に使用しないでください。

- (1) ファンクションスイッチを $\Omega/\bullet$ にセットしてください。
- (2) スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定リードをHi端子に、黒の測定リードをLo端子に接続してください。
- (3)  スイッチを1回押し、導通チェックモードにしてください。LCD表示部に “ $\bullet$ ” が表示されます。
- (4) このときの表示はオーバー表示であることを確認し、測定リードをショートさせLCD表示が “0” になりブザーが鳴ることを確認してください。
- (5) 導通をチェックする回路に測定リードを接続してください。そのときの抵抗値が50.0Ω以下のときブザーが鳴ります。

注記

- 測定リードをショートしても、表示が完全に0にならない場合がありますが、これは測定リードの抵抗によるもので、不良ではありません。
- 測定リードがオープンなときは、表示は “OL” となっています。

2.8 MAX測定（応答時間：400ms）

抵抗（Ω）レンジ以外のレンジ測定中の最大値を表示します。

長時間測定することで測定期間中の最大値を測定することができます。



警告

- 本器は、AC 750V/DC 1000V以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- 測定リードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。

- (1) ファンクションスイッチを測定したいレンジにセットしてください。
- (2)  スイッチを押し、MAX測定モードにしてください。LCD表示部に **MAX** が表示されます。
- (3) 正しい測定値を得るため、測定準備完了後（クランプまたは測定リード接続後）、一度  スイッチを押してください。
- (4) 各測定と同じ手順で測定してください。LCD表示部に測定中の最大値が表示されます。
- (5) MAX測定を解除するには、再度  スイッチを押してください。

注記

- MAX測定では、データホールド機能は使用できません。
- 長時間のMAX測定をする場合は、スリープ機能をキャンセルしてください（「3.1 スリープ機能」参照）。キャンセルしない場合は、約10分でスリープ状態になります。

3. 機能の説明

3.1 スリープ機能

電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎ、電池寿命を延ばすための機能です。ファンクションスイッチまたは他のスイッチ操作後から約10分間で自動的にスリープ（パワーダウン）状態になります。

操作を再開するには、ファンクションスイッチを一度OFFにするか、いずれかのスイッチを押すことでスリープ状態から復帰し通常の測定ができます。

スリープ状態では、わずかながら電流を消費します。

スリープ状態の解除

データホールドボタンを押したまま、電源を入れることにより、スリープ機能は解除されます。このとき電源を入れてから約3秒間、LCD表示部に“P. OFF”が表示されます。

再度スリープ機能を有効にするには、データホールドボタンを押さないで電源を入れ直してください。

注記

OUTPUT端子にプラグを差し込んだときは、スリープ機能は動作しません。プラグを抜いた時点から約10分でスリープ状態になります。

3.2 データホールド機能

測定した値をLCD表示部に固定する機能です。データホールドスイッチを1回押すとホールド状態になり、そのときのデータが保持されます。入力が変わっても表示は変わりません。LCD表示部に“**H**”が表示されます。

データホールドを解除するには、データホールドスイッチをもう1回押してください。

注記

- データホールド中にスリープ機能が働くと、ホールドは解除されます。
- MAX測定モードでの使用はできません。

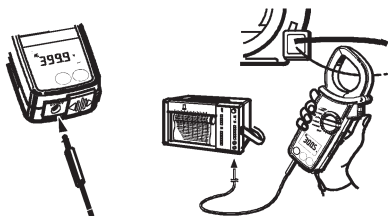
3.3 OUTPUT端子（電流測定時のみ使用可能）



警告

- 本器は、AC 750V/DC 1000V以上の回路では、絶対に使用しないでください。
- OUTPUT端子には、絶対に電圧を加えないでください。

- (1)OUTPUT端子からの出力を取り出すには、別売の出力ケーブル（形名：98076または98077）を使用してください。
- (2)スライドカバーを右側へスライドさせ（Lo端子/Hi端子を塞ぐ）OUTPUT端子に加工したプラグを差し込み、コードを記録計などの入力端子に接続してください。



- (3)ファンクションスイッチを $\sim$ 400A または $\sim$ 2000A セットしてください。
（400A/2000Aのみ使用可能），
これ以後の各操作はそれぞれの測定と同じ手順で行ってください。

注記

- 直流電流の測定においてOUTPUT端子の出力は **4.250** スイッチを押して表示を“0”にしても出力はゼロにならない場合があります。接続する記録計などでゼロを合わせてください。
- OUTPUT端子にプラグを差し込んだときは、スリープ機能は動作しません。プラグを抜いた時点から約10分でスリープ状態になります。
- OUTPUT端子の出力は「5.仕様」のとおりです。出力にあわせて記録計などの感度を設定してください。

3.4 別売アクセサリの使用方法

クランプアダプタ（形名：99025）（交流電流のみ）

クランプアダプタ（99025）は、受注停止製品です。

本器だけでは測定できない最大3000Aの電流や、大形ブスバーおよび太い電線の電流が測定できます。

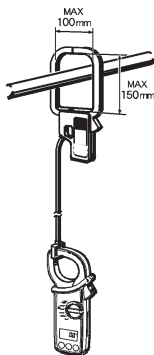
(1)ファンクションスイッチを  400A にセットしてください。

(2)  スイッチを押して交流 (AC) にしてください。

(3)図のようにクランプアダプタの検出部をクランプしてください。

(4)クランプアダプタを測定するブスバーまたは電線をクランプしてください。

(5)本器の指示値を10倍した値が求める電流値です。



4. 電池の交換



警告

感電事故を避けるため、電池交換の際はファンクションスイッチを必ずOFFにして、測定リードを本体から外してください。



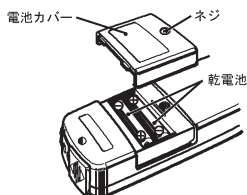
注意

- 乾電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。
- 乾電池の極性を間違えないように接続してください。

乾電池の電圧警告“**BATT**”マークがLCD表示部に表示されたら、新しい乾電池と交換してください。

また、乾電池が完全になってもいる場合は、表示部が消え、“**BATT**”マークも表示されませんので注意してください。

- (1)ファンクションスイッチ（電源スイッチ）をOFFにしてください。
- (2)本器背面に付いている電池カバーのネジをゆるめ電池カバーを外してください。
- (3)新しい乾電池と交換してください。乾電池は単3形乾電池2個です。
- (4)電池カバーを取り付け、ネジを締めてください。



5. 仕様

■機器仕様

●測定範囲および確度 (23±5℃, 45~85%RHにおいて)

直流電流 $\overline{\text{DC}}$ A

レンジ	測定範囲	確度
400A	0 ~ ±399.9A	±1.5% rdg ±2dgt
2000A	0 ~ ±1999A	

交流電流 $\sim$ A

レンジ	測定範囲	確度
400A	0 ~ 399.9A	±1.5% rdg ±2dgt (50/60Hz)
2000A	0 ~ 1000A	±3.0% rdg ±4dgt (40 ~ 500Hz)
	1001 ~ 1999A	±5.0% rdg ±4dgt (500 ~ 1kHz)
		±3.0% rdg ±2dgt (50/60Hz)

直流電圧 $\overline{\text{DC}}$ V 入力インピーダンス: 2M Ω

レンジ	測定範囲	確度
400V	0 ~ ±399.9V	±1.0% rdg ±2dgt
1000V	0 ~ ±999V	

交流電圧 $\sim$ V 入力インピーダンス: 2M Ω

レンジ	測定範囲	確度
400V	0 ~ 399.9V	±1.5% rdg ±2dgt (50/60Hz)
750V	0 ~ 749V	±1.5% rdg ±4dgt (40 ~ 1kHz)

抵抗 Ω (2レンジオート)

レンジ	測定範囲	確度
400 Ω	0 ~ 3999 Ω	±1.5% rdg ±2dgt
4000 Ω		

抵抗, 導通 $\Omega/\bullet$ (レンジ固定)

レンジ	測定範囲	確度
400 Ω	0 ~ 399.9 Ω	±1.5% rdg ±2dgt (50±35 Ω 以下でブザー鳴動)

OUTPUT端子 出力インピーダンス：約10kΩ

	レンジ	出力電圧 DCmV	入力電流	確度
直 流	400A	0 ～ 400.0mV	0 ～ 400A	±1.5% rdg ±3mV
	2000A	0 ～ 200.0mV	0 ～ 2000A	±1.5% rdg ±3mV
交 流	400A	0 ～ 400.0mV	0 ～ 400A	±1.5% rdg±3mV (50/60Hz)
	2000A	0 ～ 100.0mV	0 ～ 1000A	±3.0% rdg±3mV(40 ～ 500Hz) ±5.0% rdg±3mV(500 ～ 1kHz)
		100.1 ～ 200.0mV	1001 ～ 2000A	±3.0% rdg±3mV (50/60Hz)

※電磁波対応性

(IEC 61000-4-3)

無線周波数電磁界＝＜1V/mでは、規定の確度

無線周波数電磁界＝3V/mでは、規定の確度＋レンジの2%

■一般仕様

動作方式

測定機能

表示

入力オーバー表示

応答時間

サンプルレート

確度保証温湿度範囲

使用温湿度範囲

保存温湿度範囲

導体位置の影響

外部磁界の影響

電源

電池寿命

消費電流

スリープ機能

耐電圧

絶縁抵抗

被測定可能導体径

外形寸法

質量

安全規格

二重積分方式

直流電流, 交流電流, 直流電圧, 交流電圧, 抵抗, 導通チェック

液晶表示 最大3999, 単位, 記号

OL表示 (各レンジにおいて測定範囲を超えた場合)

約2秒

約2.5回/秒

23℃±5℃, 85%RH以下 (結露がないこと)

0~40℃, 85%RH以下 (結露がないこと)

-20~60℃, 85%RH以下 (結露がないこと)

導体径Φ10mm (100A) によりコア内のあらゆる位置において中心時指示値の±1.5%rdg±3dgt以内

400A/mの磁界中において4A以下

単3形乾電池 (LR6またはR6P (SUM-3)) 2個

約100時間 (連続)

約9mA

スイッチ操作後約10分でスリープ状態 (消費電流約20μA)

AC8200V/5秒間

(電気回路と外箱および電気回路とトランスコア金属部の間)

10MΩ以上/1000V

(電気回路と外箱および電気回路とトランスコア金属部の間)

最大約Φ55mm

約105 (W)×250 (H)×49 (D) mm

約530 g (電池含む)

EN 61010-1, EN 61010-2-033

EN 61010-031, EN 61010-2-032

	測定カテゴリⅣ AC/DC 600V, 測定カテゴリⅢ AC/DC 1000V		
EMC規格	汚染度2 屋内使用 高度2000m以下 EN 61326-1 Class B Table 1, EN 61326-2-2, EN 55011 Class B Group 1		
環境規格	欧州RoHS 指令適合 欧州圏以外の環境規制/規格の適合については、お近くの 横河オフィスまでお問い合わせください(PIM 113-01Z2)。		
付属品	測定リード	形名: 98072	1セット
	単3形乾電池	R6P(SUM-3)	2個
	携帯用ケース	形名: 93034	1個
	取扱説明書	IM CL250	1部
アクセサリ (別売)	出力ケーブル	形名: 98076	
		形名: 98077 (ネジ端子用)	

6. 校正およびアフターサービス

本器をご使用中、万一不具合が生じましたら、下記項目を点検してください。
それでも正常な動作を示さず修理を必要とする場合には、お買い上げいただいた
販売店または当社までお問い合わせください。

- 電源を入れ直してください。
- 電池電圧の低下によるものであれば、電池を新しいものと交換してください。
(「4. 電池の交換」参照)

校正

本器を正しくご使用いただくためにも、定期的に校正することをお勧めします。

推奨校正周期: 1年

本器の修理または校正については、お買い上げいただいた販売店または当社に
お問い合わせください。

廃電気電子機器

(EU WEEE 指令はEEA* で、UK WEEE 規則はUK で有効です。)

この製品はWEEE 指令マーキング要求に準拠します。

このマークは、この電気電子製品を各国内の一般家庭廃棄物として廃棄し
てはならないことを示します。

EEA またはUK で製品を廃棄する場合は、お近くの横河オフィスまでご連
絡ください。 (*EEA: European Economic Area)



保証について

本器は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備により故障あるいは輸送中の事故などによる故障の節は、お買い上げいただいた販売店または当社にお申し付けください。

なお、当社製品の保証期間は納入日より1か年です。

保証書

※ご使用者名		殿
形名 CL250	※製造番号	
保証期間 ※購入日		年 月 より 1年間

お願い

本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所ご記入のうえ本器の最終ご使用者のお手許に保管してください。

○保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は下記に記載の保証規程により無償で修理いたします。

○本保証書は日本国内でのみ有効です。また保証書の再発行はいたしません。

(This warranty is valid only in Japan.)

保証規程

保証期間中に生じた故障は無償で修理いたします。
但し、下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外いたします。

記

- (1) 不適当な取扱いまたは不適当な使用による故障。
- (2) 設計仕様条件をこえた取扱い使用または保管による故障。
- (3) 電池等の消耗品および自然減耗部品の交換。
- (4) 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障。
- (5) 火災・水害・地震その他の天災を始め故障の原因が本器以外の理由による故障。
- (6) その他当社の責任とみなされない故障。

以上



YOKOGAWA

横河計測株式会社

中華人民共和国の「電子情報製品の汚染予防管理方法」による説明です。

中華人民共和国でのみ有効です。

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
框架 (塑料)	○	○	○	○	○	○
线路板 ASSY	×	○	×	○	○	○
导线	×	○	○	○	○	○
电池	×	○	○	○	○	○

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。

环保使用期限：



该标识适用于 SJ/T11364 中所述，在中华人民共和国销售的电子电气产品的环保使用期限。

只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，则不会因产品中有有害物质泄漏或突发变异，而造成对环境的污染或对人体及财产产生恶劣影响。

